

平成18年度学校経営の改革方針の評価表

	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	成果や課題、今後の方針
校舎制の充実と再編活性化	<p>1 校舎制により、生徒の関心意欲に応じた多様な学習や社会体験、生徒同士の切磋琢磨の機会を拡大させます。</p> <p>(1) 校舎制の取り組みを円滑に進めるために昨年度から発足した合同作業部会を有効に機能させて、生徒交流や教員交流を充実させます。</p> <p>(2) 各校舎の生徒交流をおこなひ、各校舎間の生徒の理解をより一層深めます。進路指導部による三校舎合同AO入試・推薦入試対策講座を7月に度会校舎で、就職試験対策講座を8月に南島校舎で実施します。また、体育祭、文化祭など生徒会行事を中心に生徒会や各委員会のオフライン交流、オンライン交流を活発にします。</p> <p>(3) 基礎学力テスト、一般常識テスト・作文、就職模試・作文を三校舎合同で実施します。</p> <p>(4) 世界新体操クラブ選手権大会を三校舎合同で観覧します。</p>	<p>(1) 生徒交流に関わって、遠足・交流作業部会を3回交流検討委員会を3回実施した。(達成)</p> <p>(2) 部活動や合同行事を中心に生徒交流を進めた。進路指導部による三校舎合同AO入試・推薦入試対策講座は7月に南勢校舎で、就職試験対策講座は8月に度会校舎で実施。文化祭のなかで、生徒会執行部の相互訪問を実施。文化祭での作品交流は、図書委員会と生徒会新聞で実施した。(達成)</p> <p>(3) 基礎学力テスト、一般常識テスト・作文、就職模試・作文を3校舎合同で実施した。(達成)</p> <p>(4) 新体操クラブ選手権世界大会を三校舎合同で観戦した。(達成)</p>	<p>当初の行動計画の目標をほぼ達成するかたちで、校舎間の生徒交流の面での取り組みを進んできている。ただ、校舎間の距離が遠いため、ダイナミックな交流はできない状況である。このため、学校経営改善費等に、生徒移動に伴う経費を盛り込み、さらに学習面(特に総合学習)での生徒交流を図っていく必要がある。また、それにともなって、校舎間で指導基準(特に服装・頭髪面)をしつかりとつめておく必要がある。特に来年度は2年生が毎週金曜日に南勢校舎で授業を受けることになっているので、今後も十分な打合せをおこなっていくこととしている。</p>
	<p>2 三校舎の意思疎通の向上を図ります。</p> <p>(1) 校舎制に伴い、各部会、各教科会を中心に課題を検討し、各職員会議及び合同運営委員会・合同職員会議においてその課題を解決します。合同運営委員会・合同職員会議は、年3回実施します。また、緊急の場合、臨</p>	<p>(1) 各作業部会を有効的に機能させることができた。合同職員会議は2回開催した。(達成)</p>	<p>作業部会や委員会等を何度もおこなうことにより、校舎間の意思疎通を図ることができた。また、新たな課題(南島校舎の移転、南勢校舎と度会校舎のさらなる交流)について検討し、今後も継続的に議論していくこととした。作業部会と委員会のさらなる活性化が求められる。同時にテレビ会議システムの有効的な活用を図っていく必要がある。</p>

校舎制の充	<p>時合同運営委員会・合同職員会議を実施します。</p> <p>(2) テレビ会議システムを活用し、管理職員をはじめ各校舎間の情報交換を密にし、共通理解を図ります。管理職員間のテレビ会議は定期的には週1回実施し、必要に応じて適宜実施いたします。また、各部、各教科は必要に応じて実施します。</p>	<p>(2) テレビ会議システムを有効的に機能させることができた。生徒会執行部がテレビ会議で交流会を実施。(達成)</p>	
実と再編	<p>3 再編活性化第2次実施計画の周知徹底さらに図ります。</p> <p>(1) 再編活性化第2次実施計画に関わる事項を町内中学校等関係各方面に発信します。同時に関係各方面での意見を再編活性化協議会に反映していきます。</p>	<p>(1) 再編活性化第2次実施計画に関わる情報については極力、即座に地元中学校等関係各方面に発信してきた。中学校の保護者とも懇談会を実施し、その意見を協議会に反映した。(達成)</p>	<p>南島校舎の再編活性化については、県教委と相談をしながら、地元中学校等関係各方面や地域住民に極力多くの情報を早く発信した。このため、南島校舎の再編活性化について、概ね同意を得ることができた。</p>
活性化	<p>4 三校校舎生の今後のあり方(特に本校舎のあり方)について検討を行い、将来の明確な方向性と展望を出していきます。</p> <p>(1) 再編活性化第2次実施計画に係わる事項を関係各団体に発信し、その意見を聴取することとします。</p>	<p>(1) 再編活性化第2次実施計画に関わる情報については極力、即座に関係各団体に発信し、それに対する意見を聴取してきた。(達成)</p>	<p>本校舎のあり方については、将来の方向性をだすことができた。平成20年度の統合に向けた移転準備が今後の課題である。また、南勢校舎と度会校舎のあり方については、再編活性化に関わる情報をいち早く関係各団体に発信し、「南伊勢高校を考える会」「拡大南伊勢高校を考える会」等で協議を進めていくこととする。</p>
	<p>5 地域の教育力の活用や学校の持つ教育力を地域への活用などを積極的に推進し、各地域の活性化や教育の多様化に貢献できる校舎にします。</p> <p>(1) 総合学習の講師に地域住民2名を招聘します。</p> <p>(2) 図書館の地域開放の年間延べ利用者数30名を目指します。</p>	<p>(1) 総合学習や保健講演あるいは防災教育で地域住民4名を講師として招聘した。(達成)</p> <p>(2) 図書館の地域開放の年間延べ利用者数は38名。(達成)</p>	<p>地域の教育力の活用や学校の持つ教育力の地域への活用についてはある程度推進することができた。ただ、各地域の活性化や教育の多様化に貢献できるところまではいっていない。</p>

	<p>6 それぞれの校舎を単独で考えずに、一つの地域・学校として捉え、様々な課題に取り組んでいきます。</p> <p>(1) 未解決の課題について検討をすすめ、新たな取り組みを企画します。</p>	<p>(1) 未解決の課題について、「拡大南伊勢高校を考える会」で検討した。(達成)</p>	<p>検討をしてきたが、今後もそれぞれの校舎を単独で考えずに、一つの地域・学校として捉え、様々な課題に取り組んでいく必要がある。</p>
<p>教科指導</p>	<p>2 授業規律を確立し、生徒にとってわかりやすい授業を行うことにより、学習意欲を高め、基礎学力の定着に取り組めます。</p> <p>(1) チャイムがなったら、すぐ授業のできる体勢をとるために、個人カードの活用を徹底します。</p> <p>(2) 授業に対する生徒対象のアンケート調査を毎学期実施して、実態の把握と改善をおこない、生徒の満足度70%以上を目指します。</p> <p>(3) 教科連絡会を学期に1回開催して、生徒の情報交換を行うとともに、教科連絡会の中身についても検討します。</p> <p>(4) 2年生の国語、数学、英語で習熟度別講座編成、3年生国語、数学、英語で教養コース・進学コース別編成授業を実施します。</p> <p>(5) 基礎学力定着のための課題・小テストを実施します。 基礎学力：1年生2回・2年生1回 一般常識・作文テスト：2・3年生各1回</p>	<p>(1) 個人カードの活用により、遅刻者は随分と減少した。(達成)</p> <p>(2) 生徒対象のアンケート調査は1回実施した。その結果によると、生徒の満足度は60%(未達成)</p> <p>(3) 教科連絡会は3回開催し、生徒の情報交換をおこなった。教科連絡会の中身についても検討した。(達成)</p> <p>(4) 2年生の国語、数学、英語で習熟度別講座編成授業、3年生国語、数学、英語で教養コース・進学コース別編成授業を実施した。(達成)</p> <p>(5) 基礎学力定着のための課題・小テストを実施した。 基礎学力：1年生2回・2年生2回 一般常識・作文テスト：2年生1回・3年生2回を実施した。(達成)</p>	<p>南島校舎の特色である少人数によるきめ細かい指導については、十分に達成されている。遅刻の減少等、授業に取り組む生徒の姿勢も改善されてきている。ただ、まだまだ指導の余地がある生徒がいるので、継続的な指導が大事かと思われる。生徒に関わる情報交換については、少人数の学校のため、日々おこなわれている。</p>
	<p>2 教科指導力の向上を図り、進学希望者等への学力補充に取り組めます。</p>		<p>これまで以上に授業力が問われる状況となってきた。このために、公開授業や他校舎の教員との交流による情報交換や現職教育により、力量をさ</p>

教科指導	<p>(1) 各教科ごとの公開授業を1回以上実施します。</p> <p>(2) 授業に対する生徒対象のアンケート調査を毎学期実施して、実態の把握と改善をおこない、生徒の理解度70%以上を目指します。</p> <p>(3) 現職教育で教科指導力の向上について検討します。</p> <p>(4) 他校舎の教員と授業に関する情報交換等の交流を1回以上実施します。</p> <p>(5) 夏期休業中に進学希望者の補習を5講座以上実施します。</p>	<p>(1) 公開授業は2回実施した。(達成)</p> <p>(2) 生徒対象のアンケート調査は1回実施しただけである。その結果によると、生徒の満足度は60%(未達成)</p> <p>(3) 現職教育で教科指導力の向上については検討できなかった。(未達成)</p> <p>(4) 人権LHR、情報、家庭で交流を実施した。(達成)</p> <p>(5) 進学希望者の補習は5講座実施した。(達成)</p>	<p>らに磨くことが必要と思われる。来年度は、これらのことを計画的に進めることが課題である。</p>
	<p>3 各種検定に関する支援をおこないます。</p> <p>(1) 漢字検定、英語検定、情報関連検定等に向けた支援学習を実施し、検定合格者の促進を図ります。</p>	<p>(1) 検定前の支援学習により、検定合格者は増えている。(達成)</p>	<p>各検定の資格取得を大きな目標としており、教職員の支援学習への取り組みにより、成果を上げている。来年度も継続して取り組んでいくこととする。</p>
生徒指導	<p>3 身だしなみを含めた基本的な生活習慣の確立を目指し、生徒指導の充実を図り、いじめや差別のない学校を目指します。</p> <p>(1) 教科連絡会を学期に1回開催して、生徒の情報交換をおこないます。</p> <p>(2) 生徒対象のアンケートを学期に1回行い、実態把握と改善をおこないます。</p> <p>(3) 人権講話等を年間3回実施して、生徒の人権意識の確立と定着を図ります。</p> <p>(4) 人権LHRの充実を図ります。</p>	<p>(1) 教科連絡会は3回開催し、生徒の情報交換をおこなった。(未達成)</p> <p>(2) 生徒対象のアンケートを実施しなかった。(未達成)</p> <p>(3) 人権講話を年間3回実施(達成)</p> <p>(4) 人権LHRについて毎回教案検討の現職教育を実施。(達成)</p>	<p>生徒の基本的な生活習慣の確立や目指す「いじめや差別のない学校」については、ある程度まで達成されてきている。このことについては、生徒対象のアンケートによる検証が必要である。来年度は検証結果をふまえて、これまでの指導のあり方を検討しながら、指導を継続していくこととする。同時に地元中学校との情報交換もさらに進めていくべきである。</p> <p>人権同和教育については、人権LHRや人権講話の充実が図られた。この蓄積を来年度も継続していくことが大事である。</p> <p>保健講話と保健講演は充実しておこなうことができた。講話後のアンケートによると所期の目的を達成している。</p>

生徒	<p>(5) 地元中学校との生徒指導に関する連絡協議会を2回開催します。</p> <p>(6) 保健講話を1回以上実施して、命の大切さを指導します。</p> <p>(7) スクールカウンセラーによる教育相談を月1回おこなうことに教育相談の充実を図っていきます。同時に関係諸機関との連携を図っていきます。</p>	<p>(5) 地元中学校との生徒指導に関する連絡協議会を2回開催した。(達成)</p> <p>(6) 保健講話を1回、保健講演を2回実施した。(達成)</p> <p>(7) 教育相談の来談者が少なかった。関係諸機関との連携は不十分であった。(未達成)</p>	<p>スクールカウンセラーによる教育相談は来談者が少なく有効的ではなかった。来年度は、スクールカウンセラーと生徒との面談をおこなうことにより、教育相談の充実を図っていきます。同時に関係諸機関との連携を図っていきます。</p>
指導	<p>2 服装、頭髪など校則を守る習慣を定着させます。</p> <p>(1) P T A 総会や懇談会、P T A 通信において保護者に説明を行い、理解と協力を求めます。</p> <p>(2) 保護者にアンケート調査を行い、昨年と比べ、服装、頭髪等の様子が良くなったと感じる方の割合70%以上を目指します。</p> <p>(3) 服装・頭髪指導を月1回おこない、事後指導も充実させます。</p> <p>(4) 学校評議員、地元中学校、地域の方々にも理解と協力を求めます。</p> <p>(5) 交通安全指導、バス停での指導を月1回以上行います。</p>	<p>(1) 色々な機会に説明を十分におこなって、理解と協力を求めた。(達成)</p> <p>(2) 保護者へのアンケート調査は行わなかった。(未達成)</p> <p>(3) 服装・頭髪指導を月1回おこない、事後指導の充実も図った。(達成)</p> <p>(4) 学校評議員、地元中学校、地域住民に理解と協力を求めた。(達成)</p> <p>(5) 校外指導(交通安全・バス停指導)を月1回おこなった。(達成)</p>	<p>校則を守る習慣を定着させるため、共通理解にもとづく取り組み体制が構築された。このため、服装・頭髪指導、交通安全指導、バス停での指導が定期的におこなわれた。その成果もでてきている。このため、これらの指導は来年度も継続して実施していくこととする。その際にこれまで以上に地域住民・中学校と連携することが必要である。</p>
進路指導	<p>1 キャリア教育を進め勤労観や職業観を身につけさせ、自己啓発とその伸長を促進し、希望実現と自己実現に努めます。</p> <p>(1) 卒業生との懇談会を1回以上実施して、自己の進路に対する意識を高めます。</p> <p>(2) 外部講師の講話による進路ガイダンスを1回実施します。</p>	<p>(1) 卒業生との先輩体験談を2学期始め実施した。(達成)</p> <p>(2) 外部講師の講話を2学期始めに実施した。(達成)</p>	<p>進路関係の様々な取り組みにより、キャリア教育を進め勤労観や職業観を身につけさせ、卒業後の進路を明確にさせることは推進されてきているが、生徒自身が受け身で、まだまだ甘いところが見える。この部分が課題といえる。地域性もあり、指導がなかなか難しいところがある。学校としては、これまでの取り組みを継続して発展させていくことが大事である。</p>

進路指導	<p>(3) 「進路ニュース」を積極的に発行し、生徒・保護者・教職員への情報提供に努めます。</p> <p>(4) 保護者啓発の進路講話を1回実施します。</p> <p>(5) 三校校舎制の良さを生かした取り組みとして定着しつつある進度指導部の三校合同対策講座等をさらに計画的に実施します。  A O入試対策講座：7月下旬  就職対策講座：8月下旬  基礎学力テスト：1年3回・2年3回・3年2回  一般常識テスト・作文：2・3年各1回  就職模試・作文：3年1回</p>	<p>(3) 「進路ニュース」を発行した。保護者版も発行し、情報提供をおこなった。(達成)</p> <p>(4) 保護者啓発の進路講話を1学期に実施した。(達成)</p> <p>(5) 進度指導部の三校合同対策講座等を実施した。  A O入試対策講座：7月下旬に実施  就職対策講座：8月下旬に実施  基礎学力テスト：1年2回・2年2回実施  一般常識テスト・作文：2年1回・3年各2回実施  就職模試・作文：3年1回実施  公務員模試：3年2回実施  (達成)</p>	
	<p>2 生徒の実態や適性、希望等に基づいた進路指導を行い、進路先の確保を図ります。</p> <p>(1) 進路希望者について、100%以上の就労と進学を目指します。</p> <p>(2) 地元企業視察研修を1回以上実施します。</p> <p>(3) 全教職員による面接指導を1回実施します。</p> <p>(4) 地元等で求人開拓を行います。</p> <p>(5) 進学希望者対象に学力補充のための補習講座を夏期休業中に実施します。</p>	<p>(1) 学校紹介での進路希望者については100%の進学と就労を達成した。(達成)</p> <p>(2) 地元企業(地場産業)を3年生が見学研修した。(達成)</p> <p>(3) 2学期に3年生について、全職員で面接指導を実施した。(達成)</p> <p>(4) 地元等での求人開拓を行った。(達成)</p> <p>(5) 補習講座を夏期休業中に実施した。(達成)</p>	<p>進路についての生徒と保護者の意識が変化してきている。このため、生徒の実態や適性に基づいた進路指導に一部なじまない状況がある。この部分が課題かと思われる。早期に保護者と生徒について、これまで以上に進路意識の啓蒙を図ることが必要である。同時に進路実現のために、厳しい就職戦線で勝ち抜くための力(学力、コミュニケーション力、作文力)をつけさせる指導を継続することが大事である。</p>

特 別 活 動	<p>1 積極的に部活動や学校行事に参加させ、活動の活性化を図り意欲と協調性を身につけさせることを目指します。</p> <p>(1) 生徒の部活動加入を奨励し、1・2年生は全員加入制とし、活動の活性化を目指します。</p> <p>(2) 部活動の1日の平均活動人数は20人以上を目指します。</p> <p>(3) 合同チーム編成により、可能な限り多くの公式試合と練習試合に参加します。</p> <hr/> <p>2 地元中学校及び地域社会との連携を強化し、開かれた学校を目指します。</p> <p>(1) 地元中学校との合同部活動(練習試合等)を年間2回以上行います。</p> <p>(2) 地元中学校の文化祭に生徒会執行部が訪問します。</p> <p>(3) 地元中学校教職員との教科等での交流会を検討します。</p> <p>(4) 図書館の地域開放をさらに推進します。</p> <p>(5) 授業公開週間を年間2回設定して、保護者等に日常的な教育活動をみてもらうこととします。</p> <p>(6) 南伊勢ニュースを月1回発行し、保護者と地元中学校に情報発信します。</p> <p>(7) 「広報みなみいせ」で南伊勢高校欄を設定し、月一回の広報活動を行います。</p> <p>(8) プレス(新聞・テレビ等)に積極的に情報提供を行い、年間10回以上扱われるようにしま</p>	<p>(1) 全校生徒の部活動加入率は100%。(達成)</p> <p>(2) 確定的な数字はでにくいですが、20人は下回っている。(未達成)</p> <p>(3) 野球部を中心に可能な限り多くの公式試合と練習試合に参加した。(達成)</p> <hr/> <p>(1) 校舎間の合同練習に比重が移っているので、おこなわなかった。(未達成)</p> <p>(2) 文化祭準備のため、訪問できなかった。(未達成)</p> <p>(3) 人権同和教育での交流がはじまったばかりである。(未達成)</p> <p>(4) 図書館地域開放の利用者延べ38名(達成)</p> <p>(5) 年間2回の授業公開での参観者は延べ6名(未達成)</p> <p>(6) 1年生が「旧南島町の災害の歴史」を学習した。(達成)</p> <p>(7) 広報「みなみいせ」で南勢校舎とともに月1回の広報活動をおこなった。(達成)</p> <p>(8) プレス(新聞・テレビ等)で年間11回扱われた。(達成)</p>	<p>合同チームの編成を視野にいれつつ部活動を進めていく状況となってきた。長期休業中はもちろんのこと、土・日曜日にも定期的に合同練習や練習試合をおこなうことになってくると、他校舎への移動手段が必要となってくる。経費のことも含めたセーフティーネットが必要となってくる。このことが大きな課題である。生徒会作業部会等での検討が必要である。</p> <p>部活動の加入率はいいが、実態がともなっていない状況がおこっている。</p> <p>来年度については、新クラブ体制が整備されている。</p> <hr/> <p>ある程度まで地元中学校及び地域社会との連携はできている。地域への発信により、開かれた学校づくりはできていると思われる。</p> <p>次年度は、授業公開のさらなる推進と図書館の地域開放のさらなる発信が課題である。</p>
------------------	---	--	---

特別	<p>す。</p> <p>(9) 「広報みなみいせ」での広報活動とともに、ケーブルテレビでの発信を検討します。</p>	<p>(9) ケーブルテレビに発信し、年間6回扱われた。 (達成)</p>	
活動	<p>3 地域社会とのつながりや交流を深め、社会の中で豊かに生きる力を育成します。</p> <p>(1) 町民文化祭に生徒が出品します。</p> <p>(2) 1年生で「旧南島町の災害の歴史」を学習します。</p> <p>(3) 文化祭・体育祭等の学校行事への地域住民や小中学生の参加を呼びかけ、体育祭見学者20名以上、文化祭見学者150名以上を目指します。</p>	<p>(1) 出品しなかった。(未達成)</p> <p>(2) 1年生で「旧南島町の災害の歴史」を学習した。 (達成)</p> <p>(3) 体育祭見学者63名、文化祭見学者82名。(未達成)</p>	<p>地域社会とのつながりや交流はできている。さらに交流を深めることが課題である。同時に地域社会の教育力を活用することも課題である。</p>
組織能力の向上	<p>1 各教職員が幅広く知識やスキルを習得するため、研修会に積極的に参加します。</p> <p>(1) 総合教育センター等の研修講座に積極的に参加します。</p> <p>(2) 研修会で得たことを全ての教職員に還元します。</p> <p>(3) 人権・同和教育については、外部講師による現職教育を検討します。</p> <p>(4) 「ネットで研修」を積極的に活用します。</p> <p>2 スクールカウンセラーを活用し、各校舎で年1回以上の教職員のカウンセラーマインド研修</p>	<p>(1) 遠隔地のため、ほとんど参加していない。(未達成)</p> <p>(2) 還元していない。(未達成)</p> <p>(3) 外部講師による現職教育を実施しなかつた。(未達成)</p> <p>(4) 「ネットで研修」を積極的に活用せず。(未達成)</p>	<p>遠隔地と多忙のため、研修会に積極的に参加することができない。「ネットで研修」等の活用がのぞまれる。</p> <p>次年度は外部講師による人権・同和教育の現職教育を実施することとする。</p> <p>スクールカウンセラーの活用は不十分であった。十分に活用できる体制(特にソフト面)を整備することが課題である。</p>



上	<p>会を実施し、その育成を図ります。</p> <p>(1) 夏期休業中に教職員対象のカウンセラーマインド研修会を実施します。</p>	<p>(1) 夏期休業中に教職員対象のカウンセラーマインド研修会を実施した。(達成)</p>	<p>次年度にはスクールカウンセラーと生徒との面談を設定していくこととする。</p>
業 務 の 取 組 方 針	<p>1 学校経営品質の取り組みの展開を進め、すべての教職員で情報共有を行います。同時に、取り組みにより改善課題を明確にして、次年度へ継承していきます。</p> <p>(1) 学校経営品質推進委員会において、課題検討会を学期に1回を行います。</p> <p>(2) 学校経営品質に関する教職員への情報提供を行います。</p> <p>(3) 「学校経営の改革方針」により、「目指す学校像」とその実現に向けた行動計画を定め、具体的に取組みます。</p> <p>(4) 「学校経営品質アセスメント」により「目指す学校像」に照らして、改善課題を明らかにします。同時にそれを次年度へ継承していきます。</p>	<p>(1) 課題検討会は学期に1回実施せず。(未達成)</p> <p>(2) 学校経営品質に関する教職員への情報提供を行った。(達成)</p> <p>(3) 行動計画を定め、ある程度具体的に取組むことができたが、課題も残った。(未達成)</p> <p>(4) 「目指す学校像」を確認し、改善課題を明らかにし、次年度へ継承していくこととしている。(達成)</p>	<p>学校経営品質の取り組みの展開はまだ不十分である。すべての教職員で情報共有を行い、定期的な課題検討会の実施が課題である。</p>
針	<p>2 人権尊重の視点を大切にし、全ての教職員で取組みます。</p> <p>(1) 昨年度、南勢校舎と連携して実施された「開かれた学校づくり」事業の成果をさらに発展させます。また、本年度度会校舎で「開かれた学校づくり」が行われるため、三校舎が連携して推進します。</p> <p>(2) 人権・同和教育に関する情報</p>	<p>(1) 度会校舎での「開かれた学校づくり」に延べ4名の教員が参加した。(達成)</p> <p>(2) 人権・同和教育に関する情報共有を図った。(達成)</p>	<p>人権尊重の視点を大切にし、全ての教職員で取り組んできた。今後は地元中学校との連携が課題である。来年度早々に取り組んでいくこととする。</p>

業務の取組方針	<p>共有を図り、全教職員で検討して、人権・同和教育に取り組んでいきます。</p> <p>(3) 地元中学校との人権同和教育に関する連携をおこなっていきます。</p> <p>(4) 他校舎とも十分に情報を交換していきます。</p>	<p>(3) 地元中学校の人権同和教育に関する連携は不十分であった。(未達成)</p> <p>(4) 特に南勢校舎との情報交換がおこなわれた。(未達成)</p>	
	<p>3 危機管理体制の構築に取り組み、関係機関と緊密な連携を図りながら、危機管理体制の構築と推進に取り組み、生徒の安心安全を確保します。</p> <p>(1) 現代的課題に対応できる危機管理マニュアルを作成し、全ての職員が、危機管理に取り組みます。危機管理研修を年間一回以上の実施と8月までに本年度の危機管理マニュアルを作成します。</p> <p>(2) 生徒にとって安全で安心できる学校づくりのため、関係機関などと緊密に連携し、危機管理体制を構築します。</p> <p>(3) 生徒に安全への意識と生命を尊重する心を育て、自己の健康管理への習慣を養成する。</p> <p>(4) 危機管理マニュアルの検証を年1回行います。</p>	<p>(1) 危機管理マニュアルは作成したが、危機管理研修としては実施せず。(未達成)</p> <p>(2) 関係機関などと緊密に連携した危機管理体制をある程度構築した。(達成)</p> <p>(3) 救急法講座と保健講演を実施した。(達成)</p> <p>(4) 本年度は危機管理マニュアルの検証をおこなわず。(未達成)</p>	<p>関係機関(消防署・病院・警察・教育委員会等)と緊密な連携を図りながら、危機管理体制の構築と推進にかなり取り組むことができた。危機管理マニュアルを作成したものの、検証訓練が不十分であった。</p>
	<p>4 教職員の過重労働対策を推進します。このために、快適な職場環境を確保するとともに健康管理を推進します。</p> <p>(1) 学校安全衛生委員会の開催や職場巡視により職場の安全衛生管理を推進し、快適な職場環境</p>	<p>(1) 学校安全衛生委員会の開催や職場巡視をおこなった。(達成)</p>	<p>教職員の過重労働対策はあまり進んでいない。このために、快適な職場環境とは言えない状況もある。業務の見直しなども含めて、検討していく必要がある。</p>

	<p>を確保します。</p> <p>(2) 過重労働対策報告システムを活用し、教職員の過重労働の対策を行い、健康管理を推進します。</p>	<p>(2) 過重労働対策報告システムの活用が十分とは言えない。(未達成)</p>	
<p>県立学校環境マネジメント</p>	<p>1 環境に関する取り組みの方針及び行動計画に従って実施します。</p> <p>(1) 環境デーに併せて全校生徒参加による環境に関する事業を行います。</p> <p>(2) 本校の諸活動が環境に与える負荷を低減します。</p>	<p>(1) 全校生徒参加による環境に関する事業は実施せず。(未達成)</p> <p>(2) 裏紙利用、省エネによる光熱費の削減に努めた。(達成)</p>	<p>環境に関する取り組みの方針及び行動計画に従って実施してきた。成果はまだまだであるが、裏紙利用、省エネについての意識と行動は定着してきている。また、2回の外部講師による環境学習により、環境問題に対する意識は相当高まったと思われる。これを次年度に継承していくことが課題である。</p>

<p>ま と め</p>
<p>重点目標達成に向けた行動計画は、一定の成果をあげており、その成果と課題を検証しながら、基本的には、本年度の取り組みを充実して継続していくこととする。同時に無理のない範囲で新し取り組みについても検討していくこととする。ただ、生徒募集の停止により、在校生が南島校舎で学習するのは来年度だけであり、再来年度には南勢校舎に統合されていくことになっている。このため、中長期的な重点目標が展望できにくい状況にあり、同時に移転準備作業が大きな課題となってくる。円滑な移転準備を進めることが必要である。</p> <p>来年度の各行動計画の推進にあたっては、担当分掌を中心に取り組みことが基本ではあるが、全員で取り組んでいく体制が必要である。特に校舎制に関わる行動計画については、作業部会や委員会等で十分に検討して、各校舎間での連携を取り合って、実施していくこととする。</p> <p>また、学校経営品質については、取り組みをさらに推進し、成果をあげていきたい。</p>